



菅野博子

かのひろこ ●岩手県出身。2006年大学院教育学研究科修了。つくばFCレディースを経て2013年より現職。山形県国体選抜の監督も務める。ユニバーシアード・サッカー日本女子代表コーチ兼総務としても活躍。



# 山大聖火リレー

## 吸収の成果

今年8月に台湾で開催されるユニバーシアード競技大会・サッカー日本女子代表のコーチ兼総務スタッフに、東北公益文科大学女子サッカー部監督の菅野博子さんが選ばれた。岩手県出身の菅野さんは、中学時代の恩師の勧めもあって県内有数の女子サッカー強豪校で本格的にサッカーを始めて夢中になり、大学選びの基準も女子サッカーの強さを重視し、本学への進学を決めた。ずっとスポーツに関わっていきたく、大学では教育学部で生涯スポーツコースを専攻。女子サッカー部に入部し、監督や先輩に恵まれたこともあってサッカー熱はさらに加速。ついには大学院生時代にアメリカでのサッカー留学を経験。大学院修了後、2007年～2012年の6年間はつくばFCレディースに所属し、スポンサー企業で働きながらサッカーを続けてきた。その後、公益大に女子サッカー部を創部するにあたり、監督候補として山形に縁のある菅野さんが浮上し、現在に至っている。

公益大女子サッカー部は、創部からわずか4年目の昨年、監督兼選手として出場した菅野さんの活躍もあって皇后杯全日本女子サッカー選手権大会の山形県予選で初優勝。さらに、菅野さんは2015年から山形県国体成年女子選抜の監督も務めており、まさに山形県の女子サッカー界を牽引する頼もしい存在となっている。今回、日本代表チームのスタッフに抜擢されたのも、英語が話せること、世界トップレベルの地でのサッカー経験、コーチや監督としての実績、それらが総合的に評価されてのことに違いない。

ユニバーシアードに向けての合宿などはすでに始まっており、監督をはじめ世界レベルを知っているスタッフ陣から吸収すべきことは数多い。それらを公益大のサッカー部、そして山形県全体の女子サッカーのレベルアップにつなげたいと意欲を見せる。目指すはユニバーシアードでの優勝であり、公益大を皇后杯県大会連覇とインカレ出場へと導くこと。「山大と切磋琢磨しながら、ともに東北の女子サッカーをリードする存在になっていきたい」と母校への思いや期待もまだまだ熱い。



## 世界一と県女子サッカーのレベル向上を目指してユニバーシアード代表コーチが見据える未来。

菅野博子 東北公益文科大学 女子サッカー部監督



昨年、皇后杯全日本女子サッカー選手権大会の山形県予選で優勝し、表彰状を手に笑顔満面の東北公益文科大学女子サッカー部のメンバーたち。後列右端が菅野さん。



皇后杯予選では、監督兼選手としてフル稼働した菅野さん。試合前やハーフタイムには、ホワイトボードを使って、選手たちに細かい動きの確認や指示、指導を行った。